

3月 すてっぴ

アスカーラとは 大野城まどかぴあ男女平等推進センターは、平成 25 年 4 月 6 日(土)のリニューアルオープンに伴い、愛称を募集しました。アス+スカーラの造語でアスは明日・未来の意味。スカーラはイタリア語で階段やはしごの意味。明日に向かって、みんなで 1 歩づつ階段を上がっていくように男女平等を推進していきましょうという意味です。これからは、アスカーラと呼んでください。



3月号は館内でご覧ください...♪ 平成 27 年度アスカーラ関係団体作成の壁新聞「ほっぷ」

▼CONTENTS▼

- ・事業レポート「啓発サポーターフォローアップ講座 しあわせになるためにできること」
「市民グループ活動支援事業 子どもは未来からの留学生」
- ・アスカーラ 講座・イベント案内
- ・キッズルームでこんにちは
- ・ご存知ですか? 「80%」
- ・相談室のご案内
- ・ひとりごと
- ・今月のアスカーラ

啓発サポーターフォローアップ講座
「しあわせになるためにできること」

日 時:1月29日(金)18:30~20:00
出 演:安武 信吾さん(西日本新聞社 編集委員)
林田 スマ(大野城まどかぴあ館長)
学習会:啓発サポーター「まどか」

寒中、ゆるーく望あり

しまった！ この日が界隈の映画館で「はなちゃんのみそ汁」の上映最終日だった。いつまでもキュートな広末涼子とヒットドラマ「半沢直樹」でブレイクした滝藤賢一が、安武夫婦を演じる話題作である。乳癌手術後に出産して、いずれ残していく娘にひとりでも生きていける力を真摯に伝えた故安武千恵さん（前日28日は41歳の誕生日）は地元では周知の人。が、この



の数日前の大寒波に見舞いの電話をくれた関東圏内の友人たちには不案内の由。ここはひとつ、広告塔となって宣伝に一肌脱がなきゃ……。当日の夕刊・テレホンプラザの「ちよっと一言」でも、映画の感動から学校上映会を望む60代男性の弁「こんないい映画、勿体ないですよ」があった。まどかぴあのシネマランドにも期待したい。即、絵本「はなちゃんのみそ汁」（作：安武信吾・千恵・はな 絵：魚戸おさむ 発行：講談社）をネット注文して、座右に置いてのレポートである。

スマワールドと舌を巻くほどに、林田館長のリードが凄い！ 映画の裏話や安武家の現在をいつになく本音で喋ってしまったと照れ笑い。「どんなお母さんだった？」の質問に「恐かった」と聞いて素の自分で演じられたと言う広末さんは、今では、はなちゃん

のメル友だとか。滝藤さんとはそっくりと言われるが、一緒に飲んだ際に家族の食卓を大事にするスタンスで意気投合。「死んでもいいから、産め！」



のセリフに悩んだ、父親役の平泉成さん。**生きること**は**愛をつなぐこと**、重いテーマながらそこには明るさがある。原作の執筆中はきつかったけど、整理のつく作業だったと振り返る。

安武家にはテレビがないそうだ。中一のはなちゃん

はタブレット端末からダンスを覚えて、父親にして天才と言わしめるほどの実力を持つ。福岡教育大学大学院声楽科卒のお母さんの血を受け継いで、歌も大好き。毎日5時起きできちんとみそ汁を作って、しっかり朝ご飯を食べる。母との約束を守る生活でも、「なんか普通」のじわ〜とした幸せがある。亡き妻から受け継いだ「早寝早起き玄米生活〜がんとムスメと、時々、旦那〜」のブログに、講演会のお礼を書き込んだ。多忙にも拘らず返事を頂いて恐縮至極だ。



トークショーの醍醐味!? 参加者のうなずき・笑い・涙・・・

平成17年制定の食育基本法はかなりの浸透を見るが、昨今では全国各地で「子ども食堂」が立ち上がっている。子どもたちの食生活改善から日本の未来を拓くこの取り組みは、**食べることは生きること**に通じる。効果を急ぐガチガチの施策より、身近な一手がゆる〜く希望を結んでいる。

開演前にはボランティアによる紙芝居の熱演。昭和47年と平成

28年の共同参画の対比に誰もが考えさせられた。大きく立派な木枠がメンバー渾身の絵を引き立てて、啓発大成功！ 次回作も楽しみです♪



（情報サポーター 山口 郁子）

「子ども食堂」・・・親が夜も昼も働かなければならないといった事情から、栄養バランスのとれた夕食をとるのが難しい子どもに手を差し伸べようという試みから始まり、全国各地に広がっている。大野城市でも、子どもの居場所づくりや食育等の想いから NPO 法人チャイルドケアセンター運営の「おおのじょうこども食堂」や子どもと大人と一緒に調理する「はなちゃんのみそ汁 下大利食堂」（「いっしょにつくる しもおおり こどもしょくどう」事務局運営）が開催された。「はなちゃんのみそ汁 下大利食堂」は、大野城市東大利で毎月第1日曜日に開催される予定。今後の取り組みが期待されている。

アスカーラ主催講座のご案内

少しずつ春の気配が感じられるようになってきました。
九州地方の花粉量は前シーズンの1.5倍だそうです。花や木々も力いっぱい育つ季節。
アスカーラの講座で元気をチャージして、足取りがる〜春に向かって歩き出しましょう！



4/2
(土)

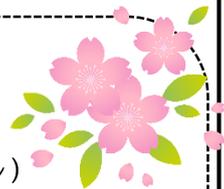
10:00~16:00

アスカーラまつり

アスカーラで春を迎えませんか！
平成25年にリニューアルし、今年で3周年を迎えます。いつも子どもから年配の方まで、多世代の声にきわうアスカーラにあなたも遊びにきてみませんか？今年も楽しいイベントを用意してお待ちしています。



- ◆10:00~14:00
子ども市 (1階 多目的ホール)
- ◆10:00~16:00
市民団体によるバザー (1階 ギャラリーモール)
- ◆11:00~12:00
わくわく工作体験 (3階 302会議室)
- ◆11:00~13:00
みんなDE遊ぼう！脳トレスロック (3階 アクティブルーム)
- ◆11:00~14:00
わくわくカフェ (3階 情報交流ひろば)
- ◆11:00~15:00
みんな来て来て！ステキなマルシェ (3階 301会議室)



男女共同参画条例制定記念講演会



大野城市が平成18年に制定した「大野城市男女共同参画条例」を記念し、今年も「ひとりひとりが幸せな社会」に向けての講演会を開催します。どなたでもご参加いただけます。

日時：5月21日(土) 10:00~12:00

会場：多目的ホール(1階)

◆講演

講師：柚木 和代 (株式会社博多大丸代表取締役社長)
龍造寺 健介 (本多機工株式会社代表取締役社長)

◆パネルディスカッション

パネリスト：柚木 和代
龍造寺 健介
コーディネーター：林田スマ
(大野城まどかぴあ館長)

参加料：無料



土曜日の「総合相談」

開始します！



4月から、毎月第2・4土曜日も「総合相談」をお受けいたします。専任の女性相談員があなたの抱えている問題や悩みについてお聴きし、問題解決に向けてお手伝いします。電話または面接でご相談いただけます。ひとりで悩まず、まずは話してみませんか。

相談専用電話 092-586-4035

相談日時 月~金曜日、

毎月第2・4土曜日

いずれも9時~17時

(年末年始・祝日・休館日はお休みです。)

講座、イベント等のお申し込み・お問い合わせは

★男女平等推進センター アスカーラ★

〒816-0934 大野城市曙町2丁目3番1号

TEL (092) 586-4030 FAX (092) 586-4031

ホームページ <http://www.madokapia.or.jp/>

開館日時/月曜日~金曜日 9時~19時 土・日・祝日 9時~17時

閉館日/第1・3水曜日 年末年始/12月28日~1月4日

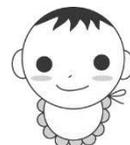
右下のマークのある講座・イベントは託児が利用できます。

開催日の1週間前までにお申し込みください。

・1人1回300円

・10か月~

小学校就学前まで



アスカラ市民グループ活動支援事業

「子どもは未来からの留学生

～私たちはどのような風景を

子どもたちに見せればいいのか～」

日にち:平成 28 年 1 月 30 日(土)

講師:波平 恵美子さん

(お茶の水女子大学 名誉教授)

主催:男女平等社会を推進する「チーム F」

子育ては時代に左右される

「いつの時代でも、どんな国に於いても子どもを放置する親はいません。皆さん一生懸命に育ててきました」と波平先生は口火を切った。



食料不足の時代、現代では想像がつかないような親たちの苦労があった。育て方に千差万別があるにせよ大事にした。その子が大人になり、また次の世代の子どもを育てていく。この繰り返しにより人類は存続している。子どもがいるから未来はある。

「その時代の風景」として見る・感じとる

その時々を環境を『その時代の風景』と表現して、子育ての多様さを話された。先生の専門分野は“文化人類学”。多様な人々の生き方のデータを集め、それぞれの時代や社会で人は何を考え、どのように行動しているかを調査している学問である。先生によると、人間には共通普遍のものがある筈で、それを前提に研究する学問との事。データからは色々な育て方が見てとれる。どんなに厳しい状況の中でも、全てが生き抜くための行為であった。何故そうしなければならなかったのかは、時代の背後にあるものを考え、見ていくと分かってくる。

子どもをより良く守り育てる

子どもを守るための過去の事例が紹介された。

1. 間引き

現代から見れば、ひどい行為としてのみ受け取られるかも知れない。が、農業の種まき作業の転用で、育ちの良いものを育てるための行為。元気な子を確実に育てるための慣習的な方法だった。

2. 協力心や自立心を養う (サモアの事例)

☆少年は同年齢との共同生活を行う

☆少女は 5～6 歳頃から家事手伝いをし、15～16

歳では既に一人前になる。そしてあまりにも理不尽な扱いを受けた時は、自ら実の両親に決別を告げる。それから少女は家を離れて、娘のいない女性を選び親子関係を結ぶ

3. 男の子を他人に預け教育をしてもらう慣習 (日本の東北地方、薩摩藩など) 現代では、山村留学といったところか…。

子どもを上手に育てるには

現代では、子どもにどのように接したら良いのか?

核家族が抱える問題点

核家族は地域に開かれておらず、他者は介入しづらい。そのような家族構成では、親はある時は友達のように、必要があれば厳しくする。そこには態度の切り替えの難しさがある。東北地方等で行われていた他人に預ける教育の利点の活用は無理がある。

環境や時代を理解したうえで判断する

時代を越えた生活をどう受け止めるか。その理解なしでは、大人の教えや伝えていることが子どもには分からない。世界には色々な風景があり、それを見ることが大切。“おしん”のドラマを例として、その当時にあった慣習を話された。

大人は人生をどんな風に語ると良いのか

自分が子どもだった頃に、時代を置き直した上で語る事が大事。何故そのようなことをしたのか、どう感じていたか、どう見えていたか、その経験はどんな意味があったのか。子どもが経験できないこと、見ることができないことを、感じ取れるような語りになると良い。

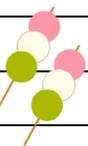


最後に受講生からの質問があった。どんな質問にも優しく丁寧に答える先生。

「自分の子や孫がいなくても、人の社会すべての子どもの未来を現在に引き寄せて考えるとき、人間は集団としても個人としても成熟できる」……レジュメにあった一文が胸に響いた。

(情報サポーター 伝書鳩)

3月の男女平等推進センター

日	曜	予	定
1	火		
2	水	休館日	
3	木		
4	金	建設経理 [㊟] パパ・ママのための読書タイム	
5	土	パパ・ママのための読書タイム	
6	日		
7	月		
8	火	啓発サポーター定例会	
9	水		
10	木		
11	金	パパ・ママのための読書タイム	
12	土	第20回大野城男女共生フォーラム パパ・ママのための読書タイム	
13	日		
14	月	託児サポーター定例会	
15	火	情報サポーター編集会議	
16	水	休館日	
17	木		
18	金	パパ・ママのための読書タイム	
19	土	パパ・ママのための読書タイム	
20	日		
21	月		
22	火		
23	水	アスカーラサポーター募集説明会	
24	木		
25	金	事業サポーター定例会 パパ・ママのための読書タイム	
26	土	パパ・ママのための読書タイム	
27	日		
28	月	市民グループ活動支援事業報告会	
29	火		
30	水	わくわくカフェ	
31	木		



相談のご予約・お問合せは・・・
☎092-586-4035

☆大野城まどかぴあ 相談室のご案内☆

全て相談は無料です。

まずはお電話でお問い合わせください。

■総合相談■ 月曜～金曜 9時～17時

※土・日・祝日と休館日はお休みです。

面接相談（要予約）と電話相談ができます。

■臨床心理士による相談■ 火曜・木曜 月4回

面接、電話相談。予約してください。

生き方、夫婦・親子関係、対人関係、仕事のこと、DVの相談など、気持ちの整理をしませんか。

女性の臨床心理士が相談を受けます。

<今月の相談日程>

3月3・17・31日（木）、8日（火）

■法律相談■ 毎月第1～4木曜日 13時～16時

面接相談のみ。予約してください。

女性の弁護士が相談を受けます。

■おしごと相談■ 毎月第2水曜日 10時～12時

面接相談のみ。予約時に①か②をお申し出ください。

①男女不問：賃金未払いや雇用形態、セクハラ等、仕事の事なら何でも労働相談員が受けます

②再就職を目指す子育て中などの女性：就職全般の相談を就業アドバイザーが受けます

ひとりごと

旧暦に関心があり調べてみた。旧暦から今の暦（新暦）に切り替わったのは1873年（明治6年）。お正月・節分・お盆など多くの行事が旧暦の時代から受け継がれていて、現代の文化や伝統と切り離せない。新暦は太陽の動きをもとにした「太陽暦」、旧暦は月の満ち欠けをベースに太陽の動きを加味した「太陰太陽暦」。この違いが行事の受け継ぎに影響を及ぼしている。例えば旧暦の正月は2月8日で中国や台湾などはこの春節（旧正月）を祝う。立春を年の初めとする考え方があり、個人の運勢を占うときは生年月日の1月～2月4日生まれの人は前年で占う。桃の節句と七夕は旧暦と同じく新暦でも3月3日と7月7日に固定された。その結果、桃の節句に桃の花は咲いていないし、七夕は梅雨の時期で星空は後回し。一方お月見は、月が満月になる旧暦8月15日の中秋の名月が楽しめる。季節の変化は、太陽と地球の位置関係で決まり、二十四節気は季節の目安になる。

（情報サポーター スピカ）



<編集>男女平等推進センター 情報サポーター <発行>大野城まどかぴあ男女平等推進センター アスカーラ
〒816-0934 福岡県大野城市曙町2-3-1 ホームページアドレス <http://www.madokapia.or.jp/>
TEL/092(586)4030 FAX/092(586)4031 相談専用電話/092(586)4035